

# Ⅲ-4

## 石器の作り方はどんな発展を

### してきたのだろうか？

石を叩き割って作る道具には、石のほか動物の角や骨、硬い木などが使われていました。どんな性質の石を割るかあるいはどのように割るかによって、大きさや重さ、硬さを選んで使っていたようです。石の割り方には、直接叩いて割る方法、「直接打撃法」が最も基本となりますが、硬い石よりも角を使うことで薄く割り取る工夫をするというように道具を使い分けていました。また、大きな石を割る場合には、地面に置いた石に叩きつけて割る方法もあったようです。さらに一定の形をした石器の材料を作るため、形を整えた石材に角のパンチをあてがいそれを叩いて割る「間接打撃法」、小さいものでは、角の先を強く押し当てることによって押し剥がす「押圧剥離法」など、時代を追って石器作りの技術に進歩がみられました。



●直接打撃法



●間接打撃法



●押圧剥離法



●石器作りの道具